

特集 I ニューガラスフォーラム 20 周年記念

歴代会長からのメッセージ

ナノガラスへの期待

日本電気硝子株式会社

相談役 岸田 清作

(1992.6~1994.6, 会長)
(2000.6~2002.6)



ニューガラスフォーラムは 20 年前、日本のガラス関連企業が協力し産・官・学一体となって新しい技術開発を進め、欧米に対抗するため当時の通産省の指導のもと旗揚げされたと先輩から聞いています。

私は平成 4, 5 年度、平成 12, 13 年度の 2 回会長を勤めさせていただきました。平成 4, 5 年度は関係する皆さんに種々ご努力をいただきましたが、未だニューガラスフォーラムの本来の目的である新しい機能をもったガラス即ちニューガラス開発に対して暗中模索していた時期であったと思います。

2 回目の会長を引受けました平成 12 年度は、その前年に日本のガラス産業のロードマップとも言うべき「ガラス産業技術戦略 2025 年」が策定され、ガラス産業の進むべき道筋が定まったこともあり、また関係各位のご努力によりナノガラスプロジェクトを NEDO からの委託事業として受けることができました。このプロジェクトこそニューガラスフォーラム発足の目的である欧米に負けない新しいガラスを追求する初めてのプロジェクトでありました。このプロジェクトも早 5 年目に入ろうとしています。大いに頑張っ一日も早く成果を出して頂かねばなりません。このように平成 12, 13 年度は私にとって具体的な目標が決まった有意義な 2 年間でありました。

このところ発展目覚しい中国に対して我々は危機感を抱いています。日本の生きる道は他の国が容易に真似のできない画期的な新製品・新技術を開発していくことです。これに対して我々ガラス関連企業はタイムリーに必要とされる新しいガラス組成と製造技術を開発し、素材・パーツを潤沢に供給することにあります。そのためにもニューガラスフォーラムの一層の活躍を期待しております。